



誰一人取り残さない

多様性と包摂性のある社会

子どもの Well-being（福祉）を実現する教育を

地域との連携・協働による ダイバーシティと 人権教育プログラム

- *このプログラムの概要と、このプログラムのインターンシップ履修対象校をお知らせします。
- *このプログラムでは、履修対象校でのインターンシップと教育実習を通して、学校や地域で 多様性と人権教育について学ぶことを大切にしています。

*** 関心のある方は、下記まで連絡下さい**

★問合せ先 右のQRコードでもメールを送れます

池上英明（総合教育系 高度教職開発部門）

ikegami-h68@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

齋藤直子（総合教育系 次世代教育部門）

saito-n61@cc.osaka-kyoiku.ac.jp



皆さんは 1回生で大学の講義で、下記のような様々な人権課題について学びます。

子どもの人権

部落問題

LGBTQ

ジェンダー

障害者問題

子どもの貧困

在日外国人・外国ルーツの子ども

こんなふうに
思った人はぜひ

多様な子どもたちに関
わりたい。もっと現場
のことを知りたい。

こうした子どもたちの課題
に学校や地域ではどんな取
り組みをしているんだろう。



さあ、次は ダイバーシティと 人権教育プログラムで 地域・学校をフィールド に学びを深めよう

このプログラムでは、教育委員会・学校との連携のもと、人権教育に学校として積極的に取り組んでいる大阪府内の学校・地域をフィールドにしています

副専攻：ダイバーシティと人権教育プログラムの学習

多様な人となつながら、学校・地域との連携の中で、子どものWell-being（福祉）を実現する先生をめざします

地域連携・人権フィールド入門Ⅰ（必修）

包摂性のある（ひとりぼっちを作らない）まちづくり

地域連携・人権フィールド入門Ⅱ（必修）

・2つのコースから1つ選択します。
（①又は②）のいずれかを選択）

①地域人材や他職種（ソーシャルワーカー等）との連携

②夜間中学や識字学級等の基礎教育

インターンシップと教育実習

学校での体験

プログラムの履修対象学校で、インターンシップと教育実習を行います。

教育実習の前にインターンシップを体験することで、学校の先生たちが多様な課題に取り組む実践を学びます。

インターンシップと教育実習を合わせると6単位以上になります。（教育協働学科は教育コラボレーション演習と教育実習）

多様性と人権に関する科目

選択必修（6単位）全て1単位

- * 人権教育の基礎 * 人権教育の実践
- * 「部落問題概論」歴史・教育編/現代の課題編
- * 「多文化共生概論」歴史編/個別課題編
- * 「ジェンダーと性の多様性」私から考える編/社会を読み解く編
- * 「『障害』者と人権」歴史編/個別課題編
- * 「ワークショップで学ぶ」人権これだけは！/人権尊重スキル
- * 「人権ワークショップ」時事問題とメディア/社会を読み解くキーワード
- * 包括的性教育-国際基準から考える性と健康-
- * 共生社会の創造とソーシャルワークの役割
- * 共生社会の創造とソーシャルワークの実際
- * 障害とアクセシビリティ

※なお「/」で分けた科目はそれぞれ別科目です

ダイバーシティと人権教育プログラムでの インターンシップとは！ 特徴3点

1

継続的な関わりの中で

本プログラムでは、インターンシップを行った履修対象校で、継続して教育実習をします。

継続的な関わりの中で信頼を得て、子どもや教職員と深くつながり、学校現場での人権教育を学びます。

2

子どもの生活に学ぶ経験を

継続的な関わりの中で、子どもたちの生活背景を理解する視点を学ぶことができます。

また、本プログラムには、学校・地域の連携や人権に関する取り組みに参加するコースが組み込まれています。コースは充実の4展開。

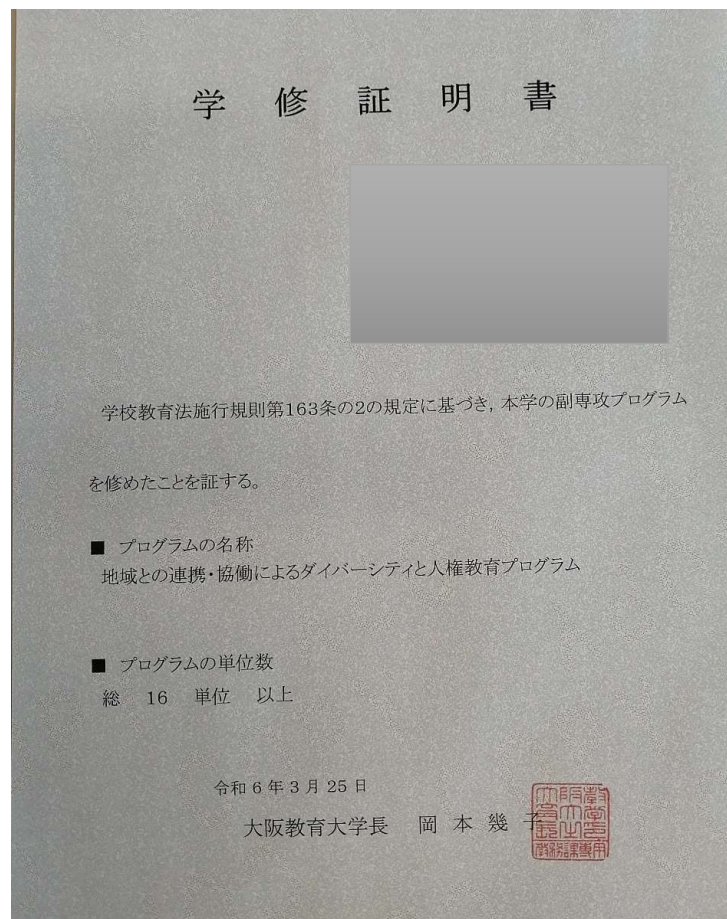
3

先輩や同期との自主活動・交流が力になる

履修対象校には、人権教育を志す先輩たちがインターンシップやスクールサポートに入っています。

体験して終わりじゃない。学校で見たこと、感じたことを、自分たちで共有することで、力になります。

受講者には右のような学修証明書が卒業時に
学長より交付されます。



受講生、教員、支援頂いている府・市教育委員会の皆さん
2024年2月28日「人プロ・人権フィールド入門報告会」

地域との連携・協働による

ダイバーシティと人権教育プログラムに関心のある人は

- 例
- * このプログラムに関心がある、人権教育に関心がある
 - * このプログラム履修対象校でのインターンシップや教育実習に関心がある
 - * 学校や地域をフィールドにして、子どもに関わる取り組みに学びたい

*** 関心のある方は、下記まで連絡下さい。右のQRコードでもメールを送れます**

★問合せ先

池上英明（総合教育系 高度教職開発部門）

ikegami-h68@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

齋藤直子（総合教育系 次世代教育部門）

saito-n61@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

